

QUESTION ANSWER Pension

税金の疑問に
お答えします

税務

Q&A

役場賦課係 ☎42局2111番

Q 疑問

私の収入は公的年金で、金額は185万円です。年金が400万円以下なので確定申告はしませんでした。それ以外には、自分で加入して受け取っている個人年金が15万円あります。申告が不要だと思っていたら、平成28年度の途中で住民税と国民健康保険税が上がりました。個人年金も所得になるのですか。申告はどうするのでしょうか。

A 答え

個人年金は、受取額から掛金（払込保険料）等を差し引いた残額が所得になります。申告時には、このような内容の分かる証明が必要です。申告前に証明が送付されない場合は、ご加入の保険会社等に確認してください。

今回のような場合は所得税の確定申告は不要ですが、町県民税（住民税）の申告が必要になります。所得税の申告と同じように、給与・年金など収入の源泉徴収票、個人年金や一時所得の受取の証明、生命保険料控除の証明、医療費控除の明細など該当するものと印かんなどを準備して、申告をしてください。

■申告をお忘れなく

所得税は、あなた自身が所得を計算し、税金を算出して納税する申告納税制度になっています。確定申告をしなければならない人や確定申告をすれば税金が戻る人は、正しく計算し期限内に申告を済ませてください。

平成23年分確定申告から公的年金等の収入金額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の方は、所得税の申告は不要になりました。この場合でも、還付を受けるための申告書を提出することはできます。（還付申告は直方税務署で1月から始まります。）

また、次のような人は所得税がかからなくても町県民税（住民税）の申告が必要です。申告をされないと町県民税や国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、保育料等の正しい算定ができない場合があります。

- ①遺族年金または障害年金だけを受給されている人
- ②農業、営業、配当、地代、家賃などの所得がある人
- ③生命保険料・地震保険料控除や医療費控除、社会保険料控除、扶養控除など、各種控除を受けようとする人
- ④収入がなくても国民健康保険等に加入している人 など

※生命保険等の満期や解約等の受取金（一時所得）、個人年金（雑所得）は、お受け取りの金額によっては申告の対象になります

確定申告の受付

申告受付は平成29年2月16日（木）からです。所得税（税務署）の確定申告をされた人は、町県民税の申告は必要ありません。なお、役場庁舎では受付を行っていませんのでご注意ください。日程や会場など、詳しいことは平成29年2月号の広報でお知らせします。





火の用心の習慣化を

これからの季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分注意し、火の用心に心がけましょう。

■住宅防火

建物火災による死亡者のうち、住宅火災による死亡者の割合は約8割にもものぼります。このことから、住宅の防火対策がいかに重要かが分かります。

なお、住宅火災による死亡者のうち、65歳以上の高齢者が約7割と過半数を占めています。

■住宅防火の9のポイント

- ①寝たばこやたばこの投げ捨てをせず、たばこの火はしっかりと消す。
- ②ストーブの付近には燃えやすい物を置かず、給油するときは火を消す。
- ③料理をしているときはその場を離れず、離れるときは火を消す。
- ④家の周りは整理整頓をし、放火されないように気を付ける。
- ⑤子どもに火遊びをさせない。
- ⑥電気器具を正しく使い、たこ足配線をしない。電気コードの上には重い物を置かない。
- ⑦コンセントをこまめに掃除する。
- ⑧住宅用火災警報器を設置する。
- ⑨高齢者や身体の不自由な人は近所同士で助け合う関係を築く。



■消火器の使い方

火災でも小さな火のうちには十分消火ができます。初期消火を行い被害を最小限に抑えましょう。

◆消火器とは・・・

消火器にはいろいろなタイプがありますが、代表的なものに粉末を放出するものと消火薬剤を放出するものがあります。大きさも大小いくつもあり、消火能力に差があります。

◆消火器の使い方について・・・

消火器は非常に簡単な操作で使用できます。

①安全ピンを抜く②ホースを火元に向ける③レバーを強く握り噴射させる

消火器の使用には、次のことに気を付けましょう。

①消火器は炎ではなく火元を狙い放射しましょう②姿勢を低くして放射しましょう③火元から2mから3m離れて放射しましょう④炎が天井に移ったら早期に避難しましょう

◆消火器の注意事項・・・

①消火器の有効期限は5年もしくは8年で消火器により若干違います。手持ちの消火器を確認して取り換え時期を確認しましょう

②屋外などに置く場合はケースなどに入れましょう。そのまま放置すると容器が腐食し大変危険です

③容器の腐食した消火器は爆発などの危険もありますので、絶対に使用しないでください。容器の底の部分などにも腐食は生じます。しっかりと確認しましょう。腐食がある場合は、購入先若しくは防災設備業者に相談をして確実に廃棄してください

これだけは
知っておきたい

いのちを 守る 7つのポイント

3つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。